

印象評価を用いた絵画の色補正方法の検討

Color Correction Methods for Paintings Using Impression Evaluation

神山諒・ネットワーク分科会・中央大学

研究背景・研究目的

色を見分けること・感じ取ることが困難な、色弱と呼ばれる色覚特性が存在する。カラーユニバーサルデザインの考え方より、色弱者のための色補正方法が考えられている。本研究では、物理的に同じ色を見せるのではなく、色弱者が絵画を見た際の印象が一般色覚者と同じになるように色補正することを目的とする。

提案手法

SD法で絵画の印象を評価し、その評価値を元に絵画の色補正をする。

非線形写像 ϕ を単体写像で近似する

パラメータ空間: Π , 画像空間: I , SD 空間: Σ

$$\begin{array}{ccccc} \phi: & \Pi & \longrightarrow & I & \longrightarrow & \Sigma \\ & p & \longmapsto & i = \iota(p) & \longmapsto & s = \pi(i) \end{array}$$

今後の方針

- SD法の実施方式や形容詞対の選択, そして画像補正方式の試験的検討
- 従来の心理物理学のアプローチの補正との比較